



照来っ子

2019 (H31) 年

4月22日

No. 3

つながい・連携が生み出す教育に向けて

～ 多くのつながりを大切にしながら・・・ ～



新しい登校班での登下校が始まり、2週間が過ぎました。各地区ともに、5・6年生のリーダーが中心となり、徒歩での登校に不慣れな1年生及び下学年に声をかけ、手をつなぎ登校してくれる姿に頼もしさを感じています。また、とりわけ低学年下校時（水・木・金曜日）の3日間、照来すこやかクラブや保護者の皆様方にお世話になり、児童の見守りにご協力いただいております。こうして地域や保護者の方々のお力添えをいただけることに大変感謝しています。

さて、先週18日のPTA役員総会では大変お世話になりました。また、19日の家庭訪問では、お子様の様子に加え、ご家族の思いや期待されること等をお聞かせくださり、新たな視点で子どもたちと向き合えるよい機会となりました。ありがとうございました。今週末には、参観授業や学級懇談会、PTA総会等と新たな連携の場がございます。教職員一同、皆様方とのつながりを大切にしながら、よりよい教育活動ができるよう努めてまいります。

大きくなる喜び！

新年度に入り、身体測定や視力検査等、体の成長を確かめる機会がたくさんあります。身体測定が終わると、「背が伸びました」とか、「体重が増えました」とか嬉しそうに話してくれる時の瞳がすごく輝いています。子ども自身が成長を実感できることは、本人にとって大きな喜びであることをあらためて感じずにはいられません。成長は体だけでなく、「心の有り様」や「ものの見方」や「考え方」そして、「言動」に現れます。子どもたちが成長したことを自分自身で実感できることを学校でも大切にしていきます。「できた」ことは勿論、「できるようになったこと」や「挑戦しようとしている姿」を認め、声掛けをすることをご家庭でも大切にしてみてください。



10連休！多くの体験・ふれあいを！

今月末より始まる10連休！田植えのシーズンとも重なりお忙しいことと存じます。子どもたちにとっては、土を触る行為一つにしても貴重な体験となります。家のお手伝いをするのも大切な生きた学びです。ぜひ、多くの体験・ふれあいのある10連休にさせていただきたいと思えます。とはいえ、大きく膨らんだ気持ちが萎まないよう、事故には十分気を付けていただき、令和になり初めて顔を合わせる5月7日、体験やふれあいから得た多くの宝物を、子どもたちから聞けることを楽しみにしています。

5月の行事予定

- ・5/7(火)全校朝会
- ・5/8(水)1～3年歯科検診
- ・5/13(月)委員会
- ・5/14(火)4～6年歯科検診
- ・5/17(金)児童朝会



- ・5/20(月)自然学校5年生～24(金)
- ・5/27(月)代表委員会
- ・5/30(木)～31(金)修学旅行
- ◆登校指導 5/7・5/13～17・5/20
- ◆一斉下校 15:40 毎週火曜日
- ◆SC: 5/15 ◆SSW: 5/23pm



お知らせ！ エコキャップ回収へのご協力ありがとうございました。本町社会福祉協議会でのエコキャップ回収が5月を持って終了するため、本校での回収を4月26日（金）までとさせていただきます。なお、プルタブについては、引き続き回収いたします。ご協力よろしくお願いたします！

学校便りを通じて発信する内容を基に教職員を育成する。

大きくなる喜び！

新年度に入り、身体測定や視力検査等、体の成長を確かめる機会がたくさんあります。身体測定が終わると、「背が伸びました」とか、「体重が増えました」とか嬉しそうに話してくれる時の瞳がすごく輝いています。子ども自身が成長を実感できることは、本人にとって大きな喜びであることをあらためて感じずにはられません。成長は、体だけでなく、「心の有り様」や「ものの見方」や「考え方」そして、「言動」に現れます。子どもたちが成長したことを自分自身で実感できることを学校でも大切にしていきます。「できた」ことは勿論、「できるようになったこと」や「挑戦しようとしている姿」を認め、声掛けをすることをご家庭でも大切にしてみてください。

◆保護者としては

- ⇒ ① 認める ②声掛けをする = 自己肯定感・安心感の共有
子どもにとってこれらが、何よりの糧になる。
- ⇒ この営みの繰り返しがベースとなり、家庭での豊かな人間関係が築かれる。

+できれば、「振り返る機会をつくる」

- ⇒ 過程（かかわり）に注目させる。
⇒ 保護者自身の関わりの振り返りにもなる

◇しかし、教師の在り方としては

- ⇒ ①認める ②声掛けをする = 自己肯定感・安心感
- +③子どもへの価値づけを行う。⇒ 集団の中で行えば、集団へのよい価値づけ
- + ④自ら「振り返る機会」をつくる
⇒ 成長過程にあった、自分の努力や自分に関わる仲間やそこにいる人々との関係性に気付かせる。
⇒ 教育活動そのものへの振り返りにもつながる。
- ⇒ 温かで、豊かな人間関係を築かせる礎となる。